

淡路島に移住した理由

CASE 1



プライミクス株式会社

代表取締役社長 古市 尚さん

米国でホテル・レストラン経営学を学び、若くして経営コンサルティングの会社を設立。兄、古市章氏の急逝により攪拌機(ミキサー)という異分野業界に身を置くことになるが、新たな発想と大いなるバイタリティで会社の変革に取り組む。サステナブル(持続可能)な会社の在り方を考えた結果、淡路島への本社・工場移転を決断。

1927年、大阪市福島区にて工業用クロムめっきの専門工場を創業し、攪拌機(ミキサー)のパイオニアとして長きにわたり発展してきた同社。2004年、古市尚さんが4代目社長に就任してからは、さらなる発展を遂げる。その大きな要因の一つが2015年、淡路島への本社・工場移転だ。「これから先、都市集中型の生活は必ず限界が来ると考えました。その時に地方が消滅してしまっ

ていっはどうすることでもできません。地方には地方の良さがあります。地方創生は企業の役割でもあります」と古市さん。サステナブル(持続可能)な会社の在り方を考えた結果、移転を決断。社宅も併設し職住共存という新しいスタイルをスタートさせた。同社の本社・工場移転は300年先を想定した考えだった。



社員住宅と本社・工場



2階にある社員食堂「ラ・カンティーナ」。洋食、中華、各国料理など毎日メニューが変わるといって驚き!

古市さんのお話を聞くなかで、何より響いたのが「社員重視」の考え方。名ばかりではない働き方改革がここでは実践されていた。神戸・阪神間を中心に社員の3分の1は本島より通勤しており、残りは敷地内に建てられた社員住宅住まいと島内移住者・出身者。通勤者は交通に制限があるため、ダラダラと残業することが無くなり勤務時間内の生産性向上へと繋がった。「島内で生活する社員は、食や自然など恵ま



社内にある企業ミュージアムには、オープンから多くの人が訪れている。(見学受付は団体のみ対応)。

プライミクス株式会社

淡路市夢舞台1-38

☎0799-72-0080

http://www.primix.jp/

ロハスフェスタ 淡路島 特別企画

地方創生を学ぶ

神戸・大阪の都市圏からほど近く、橋を渡れば豊かな自然が広がる淡路島。10/12~14の3日間に4回目となるロハスフェスタ淡路島を開催します。ロハスフェスタの開催を重ねていくなかで、淡路島で暮らす方々との交流が生まれました。恵まれた環境、充実した定住施策など要因は様々ですが、淡路島は定住促進を柱に、地方創生の動きが活発に行われています。今回は、「淡路島に移住した理由」をキーワードに、この地で充実したライフスタイルをおくる5つのケースをご紹介します。

淡路島の移住情報

【兵庫県淡路県民局】

県では新たな島民づくりに取り組んでいる
あわじ暮らし総合相談窓口 TEL.090-1247-1589

【淡路市】

●暮らし体験住宅 ●新規起業支援事業補助
●淡路島で暮らしたい! (物件探しお手伝いプロジェクト)

【洲本市】

●お帰りのプロジェクト
●洲本市移住及び定住のための空き家入居支援事業

【南あわじ市】

●マイホーム取得支援事業
●空き家改修事業 ●就業支援事業

CASE 3

ハワイに似ている淡路島 2つの島の架け橋になれば

ハワイのコンドミニウムのような平屋に一目惚れして移住した岩本さん。洲本市とハワイ島が姉妹都市関係にあることや豊かな自然・文化継承の在り方がよく似ていることなど2つの島の共通点に着目。持続可能な島の活性化を目指して、それぞれの良いところを組み合わせる企画を行う。ロハスフェスタ淡路島でも「AWAHAWA」ブースを出展するなどその活動は精力的。



AND HAWAII
岩本 幸代さん

大阪での子育てを終え、旦那さんとともに移住。淡路島とハワイの融合イベント「AWAJISHIMA&HAWAII」を定期的に開催している。

「日本一おいしい玉ねぎをつくりたい」 夢を叶えた農ガール

幼少期から土に触れることが大好きだったという木谷さん。農業の勉強がしたいと淡路島の大学へ進学し、「日本一おいしい淡路島たまねぎを目指す!」と熱く語る社長とのご縁で2525ファームに就農。「島の人々のあたたかみにも触れながらの生活が心地よいんです」と、地域コミュニティを大切にしながら、夢だった農家生活を日々楽しんでいる。



2525ファーム
木谷 芽生さん

吉備国際大学入学を機に奈良県から移住。「蜜玉」の生産からイベントでの販売、広報としても幅広く活躍。

CASE 5



Plants Café コハルビヨリ
西口さん夫婦

2017年に西宮から移住。淡路市東浦の海岸近くにあるPlants Cafe「コハルビヨリ」を夫婦二人三脚で営む。

海好きの2人が引きせられた場所 無い物がない、何でも揃う淡路島

海のそばに住みたかったという奥さまとマリンスポーツが趣味の旦那さん。先輩移住者との出会いがまた新たな繋がりを生み、引き寄せられるように移住を決めたそう。「自然豊かで、立地も便利で、美味しい食べ物が溢れているこの島には無い物がないと言っても過言じゃないと思います」と話す西口さん夫婦にとって、この島は魅力の宝庫のようだ。

CASE 4



藍藍ー
岡田 淳一さん サリー・ハンコックスさん

田舎暮らしを求め、ロンドンから夫婦で移住。「藍藍ー」として藍染のほか、イラストやウェブデザインなども手掛ける。

ゆったり子育て... たっぷり染色... 夫婦の理想の生き方

あわじ暮らし総合相談窓口相談後、すぐに気に入ったという南あわじ市の海水浴場近くの庭付き古民家で家族4人暮らし。「ロンドンに比べて家賃も安く、子育てのサービスも充実。ご近所付き合いによる助け合いが不便をなくしてくれるんです」と語る岡田さん夫婦の暮らしには、アートやクリエイティブの中に私生活が絶妙に混ざり合っている。

淡路島フェスタ in パナソニックセンター大阪

「都会」が身近にある「島暮らし」
11/9 [土]・10 [日] 10時~20時



パナソニックセンター大阪

2F Re-Lifeガーデン [トークショー・マルシェ・移住相談]

1F セミナールーム [ワークショップ]
コンシェルジェデスク [各種相談]

大阪市北区大深町4番20号
グランフロント大阪南館2F~地下1F



[主催]

パナソニックセンター大阪、淡路市、島くらし淡路

[問合せ]

淡路市移住相談窓口

「島くらし淡路」

TEL.0799-70-6876

